



みなみしょう

南小だより R4

白石町立有明南小学校
令和5年1月30日
第16号 文責 武富 通

教育目標「豊かな心もち よく考え 進んで実践する子どもの育成」 笑顔でCha! Cha! Cha!

◇節目を大切に

来週、2月3日は、豆まきでおなじみの節分です。「節分」とは、季節の分かれ目という意味であり、もともとは、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のことで、今では豆まきや恵方巻などとともに立春の前日がクローズアップされていますね。

学校もこの時期は、大切な節目の時期です。6年生は、残り2か月ほどで6年間の小学校生活を終え、中学校へと巣立っていきます。5年生以下の子どもたちも、新しい学年へ進級します。節目を意識しながら、一日一日を大切に過ごしていきたいものです。



◇家族の絆

文：渡邊教頭「作文の風景」より

おかあさんは、わたしのたからものです。おかあさんのことが一ばんだいすきです。
(2年女子)

先日、友人からメールが届きました。もう10年以上も前に私が書いた学級だよりの写真が添付されています。そこには、りささん(仮名)の日記がありました。

当時、私は毎日、日記の宿題を出していました。テーマは日替わり。その日のテーマは「家族」だったはずですが、りささんはお母さんを選びました。

くきょう、おかあさんのしごとを見ました。たいへんそうでした。おかあさんがしているのは、かんごしです。夕がたにかえってきて、また、よなかからしごとにといたりします>

職場訪問や通院から、看護師の仕事を目の当たりにしたのでしょうか。幼いりささんがどういう思いで見送っていたのか、一端がうかがえる言葉もありました。

<おかあさんによる、あえなくても、こころがつうじあっています>。仕事が忙しくても、発熱時にはすぐに介抱してくれたそうで、<わたしは、そんなおかあさんが、だいだいだいすきです>と続いていました。

日記を読んだお母さんのコメントも記されています。<涙が出るくらいうれしいです>。私も教員業務と育児の両立が大変だった時期で、自分事のように心が温かくなりました。働く親の一人として<ありがとう>と書き込みました。

その後、りささんは小学校の教員になりました。私の友人との接点が生まれ、今回のメールに至ります。これをきっかけに、私は連絡を取り、日記の裏側を聞いてみました。

祖父母と寝ていたはずの自分が、なぜか夜勤明けのお母さんと一緒に寝ている。お母さんが繰り返し「りさはたからもの」と語ってくれた……。そんな言動から、深い愛情を感じたそうです。一方のお母さん。わが子に寂しい思いをさせていると感じていたからこそ、日記や学級だよりがうれしくて保存していたそうです。

月日は重ねても、日記に込められた記憶や体験は色あせませんね。

互いを思いやる親子の姿にジーンと(; ∇ ;)きます。(武)



2月のくらしのめあて

落ち着いたくらしをしよう!

1日(水) フッ素洗口 委員会活動(新旧) 5年お茶の入れ方教室	15日(水) フッ素洗口
3日(金) 算数T 英語(今村) SC来校(午後)	17日(金) 算数T 英語(今村) 5年味噌づくり
4日(土) 授業参観 5・6年親子餅つき会	21日(火) 英語(今村)
5日(日) 町人権フェスティバル(福富ゆうあい館)	22日(水) 一斉下校
6日(月) 全校4時間授業	23日(木) 祝 天皇誕生日
8日(水) フッ素洗口 代表委員会 新入学児童保護者説明会 幼保小連絡会	24日(金) 弁当の日 算数T 英語(今村) ありがとう集会 学級懇談会 PTA運営委員会・理事会
9日(木) お話会	28日(火) 英語(今村)
11日(土) 祝 建国記念の日	
14日(火) 縦割り遊び	